

科目名	成人看護方法Ⅲ(緩和) Adult Nursing Ⅲ		担当教員 (研究室番号)	大川 明子 (305)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	akiko.okawa@mcn.ac.jp					
履修 年次	3年次 前期	科目 区分	専門科目・生涯看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
										オープンクラス	否	
科目 目的	緩和ケアの概念を知り、多面的な場面においてがん患者とその家族に向き合いながら全人的苦痛を捉え独自の援助する能力を養う。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)										
	関連する DP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。 (知識・理解) F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。(技能・表現)										
到達 目標	1. 緩和ケアの歴史と現状を知り、緩和ケアの概念について説明できる。 2. 緩和ケアに必要なコミュニケーション技術を知り、患者・家族への心理的・社会的・スピリチュアル的苦痛の援助について説明できる。 3. がん患者の身体症状の特徴を知り、症状マネジメントと援助について説明できる。 4. 最期のときを迎える患者と家族への援助について説明できる。 5. 緩和ケアに関する事例を通して、看護過程の展開をすることができる。											
成績評価方法 (基準)	筆記試験80%、レポート20%											
再試験の有無と 基準等	定期試験を受験し不合格となった場合、再試験を実施する。再試験は筆記試験のみとする。											
教科書	系統看護学講座 別巻 緩和ケア (医学書院)											
参考書等	がん看護学 (ヌーヴェルヒロカワ) がん医療・がん看護 (南山堂)											
学生の主体性を伸ば すための教育方法と 学生への期待	本科目は人間の痛みや人生最期の場面にかかわる援助を学ぶことから辛い体験となる可能性があります。何か困ったことがあれば相談してください。しかし、大学生の皆様への死の準備教育としても重要な位置付けとして学びを深めてください。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当 教員	授業 方法			
1回	緩和ケアの歴史と現状		緩和ケアの歴史、背景、理念と、日本における緩和ケアの現状と課題について学ぶ。 緩和ケアにおける全人的苦痛の概念について学ぶ。					大川	講義			
2回	緩和ケアにおけるコミュニケーションと意思決定支援		緩和ケアにおける悪い知らせの伝え方を学ぶ。 意思決定を共有するためのコミュニケーションスキルを修得する。					大川	演習			
3回	化学療法を受ける患者への看護		化学療法の治療法と抗がん剤暴露対策、副作用について理解し、看護援助について学ぶ。					大川	講義			
4回	放射線療法を受ける患者への看護		放射線療法の治療法と有害事象について理解し、看護援助について学ぶ。					大川	講義			
5回	緩和ケアにおける倫理的課題		緩和ケアにおいてSOL (Sanctity of life)「生の尊厳」とQOLの理解を深め、倫理的課題を考える。 「症例検討シート」を用いて倫理的問題について考える。					大川	演習			
6回	緩和ケアにおける身体的援助		主な身体症状(がん疼痛、がん関連倦怠感、がん食欲不振・悪液質、悪心・嘔吐、腸閉塞、便秘、腹水、呼吸困難、胸水、口内炎など)マネジメントについてグループで調べる。					大川	演習			
7回	緩和ケアにおける心理的・社会的、スピリチュアルケア		緩和ケアにおける心理的苦痛、社会的苦痛を知り、看護援助について学ぶ。緩和ケアチームによるアプローチを知る。					大川	演習			
8回	最期のときを迎える人と家族の看護		ターミナルステージの患者・家族の心理プロセス(予期的悲嘆も含む)を知り、看護援助について学ぶ。					大川	演習			
9回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開(情報の分析) 情報から分析をおこなう。					大川	演習			
10回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開(情報の分析) 事前学習で情報から分析をおこない、グループで意見交換をする。					大川	演習			
11回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開(情報の分析) 事前学習で情報から分析をおこない、グループで意見交換をする。					大川	演習			
12回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開(問題の抽出) 事前学習で問題抽出をおこない、グループで意見交換をする。					大川	演習			
13回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開(目標・計画立案) 事前学習で目標・計画立案をおこない、グループで意見交換をする。					大川	演習			
14回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開(目標・計画立案) 事前学習で目標・計画立案をおこない、グループで意見交換をする。					大川	演習			
15回	看護過程の展開 緩和ケアにおける患者とその家族への援助		事例に基づく看護過程の展開 各グループ発表					大川	演習			

学 習 課 題			
授業回数	事 前 ・ 事 後 学 習	学 習 内 容	提出方法
1回	事前学習	本科目シラバスを精通しておく。 なお、本授業時シラバスを持参すること。	
	事後学習	「全人的苦痛」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
2回	事前学習	「意思決定支援」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
	事後学習	「緩和ケアにおけるコミュニケーションスキル」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
3回	事前学習	「抗がん剤暴露対策」について調べる。	授業開始前に回収する。A4サイズ1枚にまとめる。
	事後学習	「化学療法における副作用とそれぞれの副作用の看護援助」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
4回	事前学習	「放射線治療の利点と欠点」について調べる。	授業開始前に回収する。A4サイズ1枚にまとめる。
	事後学習	「放射線療法における有害事象とその看護援助」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
5回	事前学習	「症例検討シート」について調べる。	授業開始前に回収する。A4サイズ1枚にまとめる。
	事後学習	事例を用いて「症例検討シート」を活用し、倫理的課題を考える。	自己ノートにまとめておく。
6回	事前学習	「緩和ケアにおける主な身体症状」についてまとめておく。	授業開始前に回収する。A4サイズ1枚にまとめる。
	事後学習	「緩和ケアにおける主な身体症状の援助」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
7回	事前学習	「緩和ケアにおける心理的・社会的、スピリチュアルケアの具体例」を挙げておく。	授業開始前に回収する。A4サイズ1枚にまとめる。
	事後学習	事前学習で挙げた緩和ケアにおける心理的・社会的、スピリチュアルケアの具体例について援助を考える。	自己ノートにまとめておく。
8回	事前学習	「予期的悲嘆について」について調べておく。	自己ノートにまとめておく。
	事後学習	「ターミナルステージの家族への援助」についてまとめておく。	自己ノートにまとめておく。
9回	事前学習	糖尿病患者の教育入院について、復習しておく。	自己ノートにまとめておく。
10回	事前学習	「看護過程の展開」：事例について情報を分析しておく。	配布した用紙にまとめる。
11回	事前学習	「看護過程の展開」：事例について情報を分析しておく。	配布した用紙にまとめる。
12回	事前学習	「看護過程の展開」：事例について問題を抽出しておく。	配布した用紙にまとめる。
13回	事前学習	「看護過程の展開」：事例について目標・計画を立案しておく。	配布した用紙にまとめる。
14回	事前学習	「看護過程の展開」：事例について目標・計画を立案しておく。	配布した用紙にまとめる。

実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。
- ・行政機関や学校等において保健師や養護教諭として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。